

研究課題名	頰椎疾患における臨床症状と画像所見の検討
研究責任者名	広島大学 大学院医系科学研究科 整形外科学 助教 中前稔生
研究期間	2024年 月 日(許可日) ~ 2028年 12月 31日
対象者	許可日~2027年 12月 31日の間に、広島大学病院整形外科を受診した60才以上の頰椎変性疾患患者で頰部痛(かたこり)や腕の痛み・しびれを伴う患者さん。
意義・目的	頰椎疾患の方の臨床症状と画像所見を診療録(カルテ)にて溯って検討し、頰椎疾患における臨床症状と画像所見の関連を検討することです。
方法	本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は基本情報(年齢、性別など)、臨床症状(頰部痛および上肢痛の visual analogue scale (VAS)、JOA-CMEQ、JOA スコア)、画像所見(単純レントゲンにおける各種脊椎パラメーター、MRIにおける脊柱管狭窄の程度および椎間板変性評価です。(個人を特定可能な情報は解析に用いません))
共同研究機関	ありません。
利用を開始する予定日	本学の実施許可日以降
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。具体的には、情報は解析する前に、氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し代わりに研究用の番号を付け、どなたのものか分からないようにします。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ・苦情等の窓口	研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。
〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 T e l : 082-257-5470 広島大学病院 整形外科 助教 中前稔生 広島大学病院 整形外科 准教授 亀井直輔	